



「GENE-BASEシリーズ」屋外設置例



屋外型ガス発生装置「GENEBASEシリーズ」(窒素タイプ)
(ガス発生量別に左から7.5、11、15、22kW)

コフロック

「GENE-BASEシリーズ」 屋外設置の性能評価で 増設需要を獲得!

コフロック(株)(本社：京都府京田辺市草内当ノ木1-3、☎0774-6214411)は、2018年に「GENE-BASEシ

シリーズ」は、発生ガスとして窒素、酸素、クリンドライエア(CDA)の3種類を用意。装置内部は、機能ごとに分ける「ボックス構造」を採用しており、機器間の熱干渉を低減する事を実現し、夏場の外気温45度の高温条件下に設置しても連続運転を可能とする。ボンネットは、防滴規格IPX3相当と堅牢で気密性を保持し、雨水等の侵入を最小限に留める事が可

能。コンプレッサは、耐久性に優れた給油性インバータスクリーン方式を採用し、コンプレッサからの排熱が生産現場や機械室へ入り込まず、最適な冷却効果が得られ、冷却用動力の削減に貢献する。また、屋外設置の障壁となっていた圧縮機や冷却ファン等の作動音を騒音値60dB以下と、静音仕様にした。コンプレッサから排出されるドライアドレン水の油分を特殊フィルタで分離する油水分離機能もパッケージ内に標準装備し、ドレン処理費用の大幅な削減を図る事ができる。このように高温環境下の運転を可能にした事から、

同シリーズの窒素PSAは、リフロー炉やレーザ加工、熱処理加工関係など採用ユーザーの多くが装置の屋外設置を選択し、昨年度の販売実績は約40台を記録した。特に、初号機を導入後、屋外設置における優れた性能を評価して、2〜3台目と増設するユーザーが増えているという。

加えて、電気料金が高騰し、窒素ガスのシリンダーやLGC供給が値上がりが続ける中、「GENE-BASEシリーズ」の省エネ性能にも注目が集まっている。インバータスクリーンコンプレッサとの組み合わせで、ガス使用量に応じて吸着タンク本数を自動で決定し、省エネ運転する「気筒休止システム」が進化。

この他、屋外設置型のため、屋内設置タイプと比べ設置時の搬入作業が容易な点もメリットの一つ。屋内設置に必要な排熱換気用ダクト工事やドライヤ排熱用換気扇、配管工事等が不要なため、導入初期費用を大幅に軽減できる。

なお、同社では2022年1月より、京都本社・本社工場・八幡工場で使用する全ての電力を再生可能エネルギー由来のCO₂フリー電力に切り替えており、環境保護への取組みを強化している。

資料請求番号S13

表. 機種別の仕様

モーター 公称出力	純度 (%以上)	ガス圧力 (MPa)	ガス発生量 (Nm ³ /h)
7.5 kW	95	0.3	30
	96		28
	97		26
	98	0.4	24
	99	0.45	22
	99.9	0.5	16.5
	99.99	0.6	11
99.999	0.7	7	
11 kW	95	0.4	41
	96		39
	97		37
	98	0.45	34
	99	0.4	32
	99.9	0.5	25
	99.99	0.6	18
99.999	0.7	10	
15 kW	95	0.4	56
	96		55
	97		53
	98	0.45	50
	99	0.4	48
	99.9	0.5	35
	99.99	0.6	26
99.999	0.7	15	
22 kW	95	0.4	95
	96		90
	97		85
	98	0.45	80
	99	0.45	75
	99.9	0.5	50
	99.99	0.6	40
99.999	0.7	23	

※窒素純度はN2+Arの値です。

H₂+N₂ガス発生装置



Dr.ONE SEVEN

水と空気から 水素 + 窒素 を発生

- ✓約30ccの精製水と約1.36kWの電力から、1Nm³の水素+窒素ガス(水素4%)を発生可能
- ✓タッチパネル操作で、流量変更/比率変更が可能

使用用途(例)

フォーミングガス	サーチガス	還元ガス
ボンディング	半田付け	リークテスト
		光輝焼純、酸化物還元



コフロック株式会社

https://www.kofloc.co.jp

■本社・京田辺工場 〒610-0311 京都府京田辺市草内当ノ木1-3
TEL:0774-62-4411 FAX:0774-63-5041

■八幡オフィス・工場 〒614-8184 京都府八幡市上津屋八丁25
TEL:075-983-3500 FAX:075-983-3501

